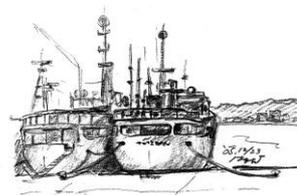


ビキニ被災支援 室戸の会

ニュース 2026年02月25日 No.71

発行 ビキニ被災を支援する室戸の会 太平洋核被災支援センター
連絡先 事務局 宿毛市 088-066-1763(山下) 室戸の会 0887-35-8725(濱田)



ビキニデーin 高知 2026

5月9日(土)～10日(日)高知市で開催

「ビキニデーin 高知 2026」の概要が決まりました。昨年は5/10～11と室戸にて開催しました。現地室戸の皆さんにはたいへんご協力をいただき200人を超える参加者があり、とても盛り上がった集会となりました。県外からの参加者からも、「とても心温まる集会でした」という声をたくさんいただきました。

2026年度は5月9日(土)10日(日)と高知市の高知城ホールを会場に開催されます。

◆オープニングでは昨年に続き、室戸市民合唱団が出演

初日のオープニングでは、昨年とても好評だった室戸市民合唱団と高知センター合唱団有志の皆さんが今年も取り組んでくださっています。心のこもった迫力ある合唱が楽しみです。

◆記念講演は野口邦和さん

記念講演は環境放射線の専門家である野口邦和さんをお願いしています。野口さんは、長く日本大学で放射化学や放射線防護学、環境放射線学などの研究に携わってこられました。最近ではNHKスペシャル「封じられた第4の被曝」で話題になった、海上保安庁の観測船「拓洋」と「さつま」が1958年に被ばくした、放射性物質の分析なども行っています。ビキニ水爆など太平洋での核実験ではどのような核物質がまき散らかされ、どのような被ばくが考えられるのか、興味深いお話が聞けると思います。また、野口さんは、原水爆禁止世界大会運営委員共同代表も務められています。



長年、ビキニ水爆被害者支援活動の支援もしてこられています。 ※写真 野口邦和さん

◆二日目は三つの分科会

〈第1分科会〉「核被災の真相究明と補償を求める」分科会

- ビキニ被ばく船員訴訟、黒い雨訴訟など、国内外の核被災をめぐる裁判について学びましょう。
- ビキニ被ばく船員訴訟での争点と、救済を求める取り組みを交流しましょう。

〈第2分科会〉「地域から平和をつくっていく」分科会

- 全国各地で、平和資料展や原爆資料展が開催され、地域の特徴を活かした核被災の継承や、平和な社会を願う取り組みを交流し学びあひましょう。

〈第3分科会〉「核廃絶と平和学習・教育」分科会

- 核廃絶の道筋、平和な社会実現のための学習活動や教育の課題についても交流しましょう。

高知港でもマグロを廃棄

1954年のビキニ事件では高知市中央市場でもマグロの検査が行われ、廃棄されています。廃棄処分のマグロは、種崎や高知大学農学部の敷地、高知城にある防空壕などに埋められたと言われています。十分な記録がなく現在調査中です。情報があつたらお寄せください。

◆高知港での検査の記録 当時の高知新聞記事より転載。

1954年 日付	高知新聞の記事
3/19	<p>「高知のマグロ“異常なし” 中央市場へ高大ガイガー計数器」</p> <p>第五福竜丸～水揚げした“原爆マグロ”が問題になっている折から、県当局と高知大の科学陣が18日午後4時、高知市中央市場に出張、高知大のガイガーカウンターで初めて生魚の調査を行った。立ち会った川崎県厚生部長、同青山予防課長、同中屋公衆衛生課長、高知大文理学部物理学教室曾我部教授、上田助教授、の一行はビキニ環礁付近からの回遊魚か、またその水の影響を受けた魚ではないかと警戒して、同日午後一時頃入荷したメカジキ(60貫、大熊水産所有)を綿密に検査したが異常は認められなかった。</p> <p>また、同日午後3時半ころ、室戸港に入港した第8幸丸(70t)=船長山本武夫(32)乗組員18名=は、去る2/22からパラオ諸島付近で約2週間にわたりマグロ漁業に従事していたので、同船から水揚げされた2200貫(マグロ、ふか、カジキ、メバチ)を夜半に同市場に入荷とともに調査した。なお、ガイガーカウンターは本県に一台しかないので県では今後備え小型数台を購入する計画を立てている。</p>
3/20	<p>「室戸のマグロも白一瞬旨なでおろすお歴々ー深夜・中央市場で放射能検査」</p> <p>3/18午後11時40分、高知市中央市場。室戸の第8幸丸が南方海域で取ったまぐろ、カジキなど90尾(約2000貫)について、高知大文理学部曾我部教授、畠山助教授による放射線検査が1時間半にわたって行われた。「まず心配はないだろう」</p>
5/15	<p>「全乗組員を精密検査 室戸の第7正丸、厚生省から指示」</p> <p>マストその他から放射能が検出された船籍安芸郡室戸町のマグロ船第7正丸(88t)の全乗組員に対し、楠本厚生省環境衛生係長の指示により精密身体検査が行われることとなり、14日県室戸岬保健所へ連絡された。</p> <p>第7正丸は3日、まぐろ8千貫を積んでパラオを出航、原爆危険水域から約千二百マイル離れた東経135°を北上して13日早朝神戸港に入港。放射線検査を行ったところマストに800ないし1000カウントをはじめロープ、船員帽などからもかなりの放射能が検出されたがまぐろは無事で神戸で3000貫、大阪で5000貫をさばいた後、同船は出港した。その後同船が空から影響を受け放射能が検出されたと見た厚生省環境衛生部から兵庫県衛生部へ山本豊彦船長以下23名の全乗組員に対し精密身体検査をするよう指示があつた。中略 県厚生部では直ちに室戸岬保健所へ連絡、帰港後山本船長以下に対し血液検査はじめ精密身体検査を行うよう指示したが、同船の室戸帰港は15日ごろとみられている。</p>

5/15	<p>「高知魚市場でマグロ検査」</p> <p>県公衆衛生局課では台湾東方海域で漁獲したマグロ、キワダなど 2500 貫(約 300 尾)を積んで 14 日高知魚市場に帰港した室戸岬町の第 3 豊丸(31t)船長武井正一氏の魚の放射能検査を 15 日午前 2 時~同市場で行った。同船の操業位置は東経 132 度北緯 18 度ないし 23 度付近で県公衆衛生課並びに大熊水産でもでもほとんど心配ないだろうと見ているが念のため実施する。</p>
5/16	<p>「臓物に多い放射能 第 3 豊丸のカジキ高大の曾我部教授の精密検査」</p> <p>15 日朝、高知市中央市場に水揚げされた第 3 豊丸のバショウカジキ 7 尾から 182 カウントの放射能が検出されたが、これについて高知大学文学部曾我部教授は 7 尾のうち 2 尾をもらい受け、精密検査をした結果次のように県厚生部に報告した。中略 この結果では骨、肉、表皮などには反応が少なく臓物に多いことが分かった。</p>
5/18	<p>「廃棄魚の補償など 県、放射能対策を計画」</p> <p>このところ連日放射能検査が行われている高知市中央市場にまた南方海域で漁獲したマグロ、カジキなど約 1500 貫が入荷、18(日)午前 2 時から同市場で県公衆衛生課の手で放射能検査が行われた。このマグロ、カジキなどは安芸郡室戸岬町の第 11 富佐丸(91t)一船主前田友綱氏一が去る 4 月 20 日から 5 月 4 日までの間に東経 136 度、北緯 5 度付近(パラオ群島近海)で漁獲し、16 日夕刻津呂に帰港、積荷の一部 1500 貫を水揚げ陸路高知市中央市場に搬入されたもの。</p>
5/19	<p>「第 7 正丸乗組員の異常なし」</p> <p>県立室戸保健所では、17 日安芸郡津呂港に帰港した第 7 正丸(88t)の乗組員 23 名のうち 16 名に対して同日放射能の被害を調査するため同保健所で身体検査を行ったが異常なしと決まり 18(日)この旨県公衆衛生課に報告してきた。</p>
5/30	<p>「県、検査班を特設 高知市場 放射能魚既に百尾」</p> <p>さる 15 日以来高知市中央魚市場で検出された放射能魚は 29 日現在で合計百尾 588 貫 900 匁に達し、検査した13隻のうち8隻が放射能魚を持ち帰っておりさらに今後も絶えないものと予想されるので県厚生部では一両日中に「放射能検査班」を特設、検査に万全を期することになった。</p>
6/1	<p>「高知市中央市場 9 隻目の放射能 長久丸のシイラなどから検出」</p>
10/9	<p>「市販マグロから放射能 曾我部教授が調査 4000 カウント検出 未検査のまま水揚げか」</p>
12/2	<p>「許容量の 50 倍 昨日の雨に強放射能 高知大曾我部教授測定」</p> <p>高知大が曾我部教授は一日朝高知市に降った雨を測定し他所 1 リットルにつき 760 カウントというさる 5 月 18 日以来最高の放射能を検出した。これまで本件で測定した者のうちビキニのものは最高 219 カウント、ソ連?のものは 240 カウントとなっており今回の者は各国基準の最大許容量に対し 50 倍という強烈さである。</p>
12/24	<p>「県放射能検査今日から廃止」「朗報に活況 ドツと歓声あがる両基地」</p> <p>「ずいぶん食べたよー遠洋漁船明幸丸乗組員」</p>

高知県でも検査を止めることは何よりだ。漁師は沖で魚はいくらでも食べているが、何ともない。福竜丸と一緒に魚を釣っていたため釣った魚の値が安くて困った。先に亡くなった福竜丸の久保山さんの話では、あまり綺麗な灰なのでウェス(廃棄用布)に包んでたくさん持って帰り、それを枕にしたとの話である。当時“放射能の魚を食べるな”と電報が来たが、もうその時には相当食べていたので、一同驚いたことであったが、今まで何ともないので安心をしている。これでのびのびした気持ちで働き自由に活動出るときがやってきた。

〈映画上映会〉3月7日(土)13時半～菜生市民館

「ビキニの海は忘れない」



3月7日(土)に「ビキニの海は忘れない」の上映会をおこないます。1954年3月アメリカの水爆実験で第五福竜丸はじめ、室戸の多くの船が被ばくしました。幡多ゼミの高校生たちが、地域で広島・長崎の被爆調査を進めていく中で、ビキニでの被ばくにも気が付いていきます。高校生たちは、船員さんに聞き取りを行うなど調査をすすめ、ビキニ事件の真相解明に取り組みました。ナレーションは吉永小百合。渾身のドキュメント映画です。(1990年作品)

主催は ビキニ被災支援室戸の会と実行委員会。先日打合せの会をおこないました。最初の15分くらいを視聴しました。土佐清水出身の方がおいでしてくれていましたが、「私の同級生が幡多ゼミで、映画に登場していました」とのこと。いやー、こんなこともあるのですね。たくさんの方に見ていただきたい。

当日は無料ですが、活動支援のための募金を受け付けています。